

令和元年12月9日

智頭町議会議長 大河原 昭 洋 様

議会広報常任委員長 安道 泰 治

委員会調査報告書

本委員会の調査事件について視察調査を実施したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

令和元年9月25日（水）～26日（木）

2. 場 所

(1) 東京都千代田区平河町2-7-4 「シェーンバッハ・サボー」

(2) 東京都千代田区大手町1-7-1 「読売新聞東京本社」

3. 内 容

(1) 令和元年度町村議会広報研修会

研修1：「読者目線で親切な広報誌を作るには～手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには～」

講師 「月刊総務」編集長 豊田 健一 氏

研修2：「情報を分かりやすく伝える」

講師 朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部長 前田 安正 氏

研修3：「町村議会広報コンクール上位入賞団体の評価ポイント」

講師 エディター 吉村 潔 氏

(2) 読売新聞東京本社見学、他

4. 目 的

住民と議会との意思の疎通を図り相互信頼を培うため重要な役割を果たしている議会広報紙の一層の内容充実及び編集技術の向上に資する。

5. 派遣委員

委員4名

6. 所感等

- (1) タイトル・見出し・小見出しだけで、おおむね内容が理解できる誌面作り、情報を分かりやすく伝える「WHY」を意識した文章の作り方、人がなぜ関心を持って読もうとするのか等、基本的な内容ではあったが、以前と比べてハイレベルで具体的な研修であった。

他町の議会だよりでは、議員が多くの町民と接し、誌面に登場させていた。議会広報誌を通じて、議会と町民の距離が縮まるような工夫については参考にしたい。

また、コンクールの上位の2議会では、議会基本条例に広報・公聴活動の充実に関する条項が明記されていること、編集方針が作成されていることが特徴であった。

コンクールの上位を目指すには、本町でも基本条例の整備、編集方針の作成が必要であり、検討したい。

- (2) 校閲作業を体験したことで、読者に正確で分かりやすい情報を伝えるため、誤字・脱字はないか、日本語の使い方に誤りはないか、事実関係に間違いがないかなど、プロの目を知る機会となった。